



02

Yuki Nariyasu  
成安 有希さん  
2016年社会学部卒

Hidekazu Oka  
岡 秀和さん  
2017年社会学部卒

## ボランティアは学生の人生の「一つのポイント」 一人ひとりが成長できる場づくりを

2016年4月に設立されたボランティア活動支援センター「ビューマン・サービス支援室」で、ボランティアコーディネーターとして活躍している。支援室は、ボランティアをした学生への情報や活動の紹介、ボランティアに関連するイベントの開催、被災地での支援活動などを展開している。

2人はともに関嘉寛・社会学部教授のゼミに所属し、学生時代からボランティア活動をしてきた。大分県出身の成安さんは高校生の時に東日本大震災を見て、「何かしなければ」とボランティアに興味を持つようになった。社会学部から岩手県野田村にボランティアバスが出ていることを知り、4年間通い続けた。「一つの後悔もない学生生活だった。ボランティアを通して得た経験を学生に還元したい」と思い、職員になりました」と話す。

支援室は現在、被災地支援と、神戸三田キャンパスでの支援室立ち上げに力を入れている。2016年に起きた熊本地震の被災地である益城町へのボランティアは、これまで12回を数える。他にも、西日本豪雨被災地の岡山県倉敷市真備町を訪れ、

泥かきや清掃の活動をした。「現場で活動すると学生の目の色が変わっていくのが分かる。ボランティアは学生の人生において、一つのポイントになる。そのような瞬間に関われていることに大きなやりがいを感じています」と岡さんは話す。

今後について、成安さんは「神戸三田キャンパスでの支援室立ち上げをやり遂げたい。場所や時間の制約はあるが、その中でも可能性を模索し続けようと思います。また、学生一人ひとりが成長できる場をさらに整えていきたい」と力強く語る。



2018年8月、岡山県倉敷市真備町で